

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。		
2	○理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	○	唱和するだけで無く、理念の理解・言葉の意味を考えながら唱和し、介護につなげていきたい
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。	○	地域運営推進会議の中で、地域の方々やご家族様に理念の理解をしていただけるように進めていきたい
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	○	挨拶や、会話を積極的に行い、少しずつ交流を深めていきたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	○	もっと入居者様と地域とのかかわりを深くする為に、色々な行事に参加していきたい。
6	○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	○	地域の方々に貢献できることがあれば、可能な限り行っていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	全職員が実施する意味・意義を理解しているとはいえない。具体的な改善は取り組めていないのが現状	○	自己評価を行うことによって個々の問題点や課題が見えてくると思うので、改善していきたい。同時に、今回の外部からの評価の結果も改善に取り組んでいきたい。
8 ○運営推進介護を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	運営推進会議の際には、入居者様の日々の活動報告、職員の活動報告を行い、意見交換を行う。意見や提案があれば、職員間での話し合いを持ち、検討し実施していく。	○	運営推進会議に関して、回数を重ねていない為、定期的開催していきたい。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。			
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。	学ぶ機会もなく、支援も行っていない。	○	出来る限り、学ぶ機会を持ち、支援していきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注を払い、防止に努めている。	勉強会として学ぶ機会はないものの、個々で注意を払うのと同時に、全職員が行っているとはいえないが、虐待と捉えられそうな物事に関しては、職員間で注意しあい、見過ごすことのないよう努めている	○	勉強会などで、詳しく学ぶ機会を設け、職員全員が注意しあい、防止に努めケア向上に努めていきたい。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>13 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様が意見や要望を言いやすい雰囲気作りに努めている。</p>		
<p>○家族等への報告</p> <p>14 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。</p>	<p>来訪された際には、近況についての報告を行い情報の共有に努めている。あまり来訪されないご家族様に対しても、月1回の個々の広報誌を発行し、近況をいくらかでも把握できるよう努めている。職員の入退社や異動についてはご家族に知らせはしていない。</p>	○	<p>職員の入退社や異動に関しては、ご家族様の心境も考えて、広報紙内やホーム内掲示板等、ご家族にわかる形で報告をしていきたい。</p>
<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>15 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>共通玄関に苦情箱を設置しているが、殆ど利用はされていない。口頭での意見はあるが苦情や不満は口頭でもない。意見や要望があった際には可能な限り早急に対応している。</p>	○	<p>苦情や不満が、殆どないため、介護される側、介護する側という立場上、苦情や不満を表せられないということもあるかも知れないと思っており、もともと苦情や不満を言いやすい環境を作り、ご家族の介護される側という意識をなくせるよう良い関係を作っていく</p>
<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>16 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日の申し送り時やユニット会議時・合同会議時など、機会は設けている。それ以外にも、気兼ね無く言えるような雰囲気作りを行っている。</p>		
<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>17 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>日中管理者以外で職員3名の確保。夜間、夜勤者1名の確保は行っており、早番・日勤・運番のシフト制にて、柔軟に対応できる職員(日勤)を確保できるようシフト調整を行っている。</p>		
<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>18 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>		
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>相談者の状況に応じ、1～3回の面会に行き、ご本人の意向を聞き、安心して頂いてからの利用が出来るよう機会を作っている。ご本人の状況によっては、ホームに見学にも来て頂いている。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>ご家族様の状況に応じ直に会って意向を聞く機会やホーム内を見ていただき不安要素を少しでも少なく利用していただけるよう努めている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご本人・ご家族様の状況にあわせ、グループホームが適切か適切でないかの検討はおこなっている。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	ご本人の慣れ親しんできた暮らし方・日々のリズムなどご本人又はご家族から聞き取り、その生活を中心とした生活からはじめていただき、またご本人の生活のペースを把握することを中心としたケアプランの作成を行う。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごしえあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、えあう関係を築いている。	特に調理や裁縫など教えて頂く事が多く、日々色々な事を教えて頂いており、尊敬する気持ちを忘れずにえあう関係を築いていけるよう努めている。常に一緒に過ごせるわけではないが出来るだけ一緒の時間を過ごせるよう、日々の会話やレクを大切にし、喜怒哀楽を共に出来るよう努めているが、多くはない	○	家族のようにえあえる関係を築いていきたいと思っており、その為に、より深く入居者様のことを理解出来るよう、日々の関わりを深く、同じ時間を共に過せるよう努めていきたい。
28 ○本人を共にえあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族様側・ホーム側での情報を少しでも共有し、ご本人のことをより理解し、ご家族様と共にえあえていけるよう努めている	○	ご本人の暮らし振りや、日常生活での心身状態の報告は行っているものの、ホーム企画の行事に参加して頂くことが今までなかった為、双方に楽しんでいただけるよう努めていきたい
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	ご家族と会話の機会がある際には、本人との絆が深まるような会話を心がけ、お互いの中での思いに相違がある場合には出来るだけ両者に不快な思いをさせないように、努めている		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	面会に来られた方には、また気軽に来られるような配慮や雰囲気作りに努めている。職員が同行していける馴染みの場所があれば、外出できるようにしている。又、手紙や電話の希望があれば、その都度対応している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	日常生活の中で、入居者様同士の関わり合いを保持できるよう職員が繋ぎ役として入るが、全員が全員との関わり合いがあるとはいえないのが現状。レクリエーション等関われる機会があるが、全員参加では無く、いつも決まった方の参加や、少人数での参加になってしまう。	○	全員参加が出来、かつ関わり合いがもてるようなレクリエーションを考え、全員に楽しんで頂き、常に係わり合いがもてるよう努めていきたい
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプラン更新時は必ず、居室担当職員がご本人・ご家族様に意向の確認を行い、困難な場合は本人本位や、ご家族様の意向の確認を行いプラン作成に反映させている。その他、日々の会話や動作から意向を聞いたり、汲み取れるよう心がけている。		
34 ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入居時にある程度の情報をご本人・ご家族様から聞き取り、入居されてからの生活に反映させたり、日々の会話などから、暮らしの経過を把握できるよう努めている。		
35 ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	1日に3回の申し送りは必ず行い、出勤日ではない日に関しては、個人記録や申し送りノートの確認にて入居者様の心身状態の把握に努めている。	○	あまり自発的な会話がないうちや、話すことが好きではない方については、細かいところまでの心身状態の把握がしづらい面があるため、極力会話を増やし、日々の動作の変化を見逃すことのないよう心がけていきたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ケアプラン作成時、居室担当職員がご本人とご家族様に意向の確認を行い、又、ご本人の状況を視野に入れ、ケアマネージャー、計画作成者、職員での話し合いの場を持ち、意見交換によりケアプランの見直し、作成を行っている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	その方にあわせた期間を設け、心身状態の変化がなければ変更はしないが、入院や怪我など、何らかの変化があった際には、早急にケアプランの見直しをかけていく		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	日中・夜間問わず24時間の変化、過ごし方など、個人記録に残しているが、記入内容が大まかな場合もあるため、介護計画の見直しについては、全職員が集まり意見交換し合う必要がある	○	記入内容が具体的でないことがあり細かいところまでの情報の共有は、日々の申し送りや職員間での会話、申し送りノートの記入・確認になってしまう為、出勤でない職員も現状を把握できるよう、もっと具体的に記入していくよう努めていきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	子供110番を実施。 民生委員・自治体主催の交流会に参加している。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	現在他サービスを受けたいという方がいらっしゃらない為支援は行っていない。	○	希望があった際には支援をしていきたい
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	包括支援センターとの協力体制はとれていると思う。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	提携している病院があり、ご本人・ご家族の了承が得られれば往診にきていただける。他にかかりつけの医師がいる方についてはご家族が通院など行っている為、直接的な関係は築いてないが、ご家族を通しての関係を築いている。	○	提携を結んでいる病院以外の病院には特に急な変化にも対応できるようしっかりとした関係を築いていきたい
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	認知症に詳しい医師との関係は築いており、認知症やその症状に対しての診断や治療をして頂いている。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	往診に来て頂いている看護師の方には、少しの変化で連絡をした際には相談に乗っていただき、相談に応じ適切な対応をして頂いている	○	もっと関係を築いていき、入居者様の日常の健康管理や医療活用の支援に役立てていければと思う。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	提携している病院があり、往診に来られる医師は変わることもないため、生活状況は毎回報告し、情報を共有している。入退院時も連絡を取り合い情報交換に努めている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	重度化や終末期について、出来るだけ早い段階での医師との相談、ならびにご家族との相談を行い必要に応じケアプランを見直し、職員全員が同じ方向性でのケアをしていけるよう連携している		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	出来ること・出来ないことを日々の生活の中から見極め、出来ることは可能な限りご自身に行って頂けるよう支援し、その旨はご家族・医師・職員も把握しているよう努め、同じ方向性での支援を図ると共に、今後の変化に備え、医師との相談もを行っている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ご本人の状態によって、危険がなければ、使い慣れた家具を持ってきて良いという旨は伝え、居室内に関してはご本人・ご家族様にお任せしている。環境が変わることでの心身の状態が崩れないようご家族を始め、関係者の方とは、事前に話し合い混乱などを防げるよう努めている。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人記録など社内にある、本人に繋がりがえる書類・写真の持ち出し禁止、個人の情報の口外禁止を徹底している。個々の誇りやプライバシーには細心の注意を払っているが、声掛けに関しては曖昧になりがちで、自分では気付かないことがある。</p>	○	<p>声掛けの際には、誠意を持って対応していくと共に、職員間で注意しあい対応していきたい。</p>
<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>個々に合わせた声掛けや、対応をしている。その中で、意思表示の難しい方には、いくつかの選択肢の中から選んでいただくなど、その方の意思を尊重するよう、心がけている。</p>		
<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>一人一人のペースに合わせた生活やケアを行うよう努めているが、業務優先になっている事がある。その日一日全てを決めていただいたことはないが、レクの際等選択肢の中から選んでいただいたり、希望があった際には行うようにしている。</p>	○	<p>業務優先で無く入居者様優先を絶対としよりよい環境を作れるよう心がけ、どのように1日を過ごしたいかなどご本人の意思を尊重し、意思表示の少ない方には、いくつかの選択肢を用意し、それぞれのペースでの生活が出来るよう努めたい</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>更衣介助が必要な方に関しては、ご本人に自ら選んで頂き、ご本人の意思を尊重しているがお洒落とまではいえぬ。理美容に関しては、馴染みの美容室へ行きたいという希望があれば支援し、希望がなければ訪問美容室にて、カットして頂いている。</p>	○	<p>起床後の整髪などに気を配れていない事が多く、お洒落といえるほどの整容介助を行えていないのが現状の為、出来る限りのお洒落が出来るようご本人の意思を尊重し尊厳を守っていけるよう努めていきたい</p>
<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>全入居者様の好みを把握出来ているわけではないが、極力食事中の会話を増やし、食材の好みや味の好みを探る努力はしている。毎日検食簿をつけており、職員・入居者様の感想を書き、それをもとに食材の変更や、メニューの変更を随時行っている。盛り付けや、配膳・下膳は場合により手伝いをお願いしている。</p>	○	<p>一人一人の調理から配膳までの力を把握しきれていない為、出来る範囲で一緒に行っていきたい。好みについては、出来るだけ把握に努め、これからも献立に反映させていきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご本人の希望に応じ、いずれもお出しはしているが、ご本人の持っている病気によって制限される場合もあるため、医師との相談にて、出来るだけ楽しめるよう支援している。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	減らす為の支援はしており、トイレ誘導やパターンの把握に努めているが、パターンがなかなか把握できず、失敗してしまうことも多い。尿意・便意はあるが間に合わないという方には、原因を探り、原因の解消に努めている。	○	排泄パターンを把握できるよう、トイレ誘導の時間や習慣を記録に残すなどし、対応していき、おむつ内も定時で確認することを忘れず、清潔を保ち気持ちよく生活できるよう努めたい。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	基本的な曜日は決めてあり、日にちの感覚や曜日の感覚を持っていただくために設定しているが、その日の体調や希望に出来るだけ応えられるよう努めている。その他に、お風呂が嫌いな方もいらっしゃる為曜日の設定も行っている。	○	希望がある方に対しては、曜日や時間を決めずに入らせていただくのが、理想の形の為、もっと自由に入浴が出来るよう、職員の対応を柔軟にしていきたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	職員によっては、職員の都合で休息が取れなかったり、休んでいるときに起こされたりということもあるが、体調に応じての声掛けや、介助は行っている。夜間の巡回時は、安眠を妨げないように留意し、やむを得ない場合は静かな声掛けを心がけている。	○	職員によっては、ご本人がどうしたいのか・どうしてほしいのかの希望を聞かず職員本位での介助をしていることがある。本人本位でのケアが出来るよう、努めていきたい。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	これまでの生活歴をご本人やご家族様から聞き取り、レクリエーションとして反映させてはいるが、多くはない。	○	趣味活動を充実化させるためにも、もっと深く趣味を知っていくと共に、趣味だけに限らず、役割という部分で、調理や裁縫、花壇、菜園など、仕事としていた部分や、得意な分野を探り、一緒に行っていきたい。
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人の理解力に応じ、所持している場合もあり、買い物に行った際には力に応じてご自分で使ってもらっているが、大半はご家族様が管理していらっしゃる為、所持したりご自分で使う事は殆どない。		
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	その日の体調や天候を考慮し希望に応じてはいるものの、ほぼ希望はないため、職員のほうから声をかけ散歩などにいけるよう支援している。車を使っての外出は、他の予定との兼ね合いもあるため、必ずしも希望のあった日にいけるとは限らない。	○	入居者様の希望していることを日々の中から探り出来るだけ、希望通りの支援をしていきたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	ご家族との外出の際には、制限は行っておらず気軽に出かけられるように支援。その他、日々の会話の中からの希望があれば出来るだけ企画し、個人あるいは個別(2~3名)での外出をしている。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	希望があった際には、いずれも行っている。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	いつでも来ていただいて構わない旨は訪問者には伝えており、面会にしやすい雰囲気作りも心がけている。来客の対応にも失礼のないよう努めている。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	現在、身体拘束は一切行っていないものの、どういことが拘束にあたるのかというのを、いくらか知っているだけで、正しい理解はしていないのが現状。	○	しっかり理解出来るよう、学べる機会を作り、職員の意識を上げる努力をしていきたい。
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日中に関しては施錠をすると、虐待・拘束・抑制に繋がることは知っているものの、正しい理解はしていないのが現状。	○	正しく理解出来るよう、学ぶ機会を設けていきたい。
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	完璧とはいえないが、日中帯・夜勤帯問わず、様子確認・安全確認・所在の把握に努めており、職員間での声掛けや、情報交換に努めている。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	個々にあった物品を置くことに努めており、危険があるものについてはご本人・ご家族様に伝え、おかないようにしている。危険があっても、職員が気をつけることによって事故を防げる物品については、おいてある。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	一般的な知識はあるものの、大々的に知識を学ぶ事はしていない。ケアをしていく中で、経験のある職員が教えている程度。それぞれの入居者様に応じ、見守り介助を行い防止には取り組んでいる。 災害に対しての意識は低い。	○	しっかりと学ぶ機会を設け、知識や技術を身に付け、事故防止に取り組んでいきたい。災害に関しては、知識はもちろんのこと意識をもっと高めていきたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的には行っておらず、殆どの職員が突発的な事故の際、しっかりと対応は出来ない。	○	学ぶ機会を設け、突発的な事故や急変時に、的確な対応が出来るようにしていきたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	消防訓練(火災)には1回しか参加していない為、避難方法は身につけていないと思う。その際も、全職員が参加ではなかった為、避難の方法もわからない職員がいる。	○	消防署管理のもと年2回の避難訓練に、ホームだけでの避難訓練をこれから実施予定。訓練をつむことによって、避難方法を身につけていきたい。
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	その方の病気やそれに伴う症状によって起こりえるリスク・危険がある際には、ご家族様に相談し、対応策を提示し、了承を得よう努めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	日々の生活の中での身体の観察、行動・言動の変化の観察、毎朝の血圧・体温測定を必ず実施。1日3回の申し送りにて情報の共有を行い、変化に気付いた際にはすぐに、他職員への相談、上司への報告、医師への報告・相談を行っている		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	ある程度理解はしているが、完璧ではないのが現状。薬が処方されるたびに薬剤情報を必ず確認。薬の変更があればご本人の様子など、薬によって起こりえる変化を必ず個人記録に記入している。	○	出来る限り、個々に服用している薬の把握に努め、作用・副作用まで頭に入れていきたい
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	職員全員が理解しているとはいえないのが現状。毎朝ヨーグルトを午前のおやつとして出し、その後最低20分の体操を行っている。その他、水分量の把握、少なければ促し注意している。場合によっては医師へ相談をしている。	○	職員全員が原因や影響を理解しているとはいえないため、学ぶ機会を設けていきたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後口腔ケアをして頂いているが、ご自分で行われる方や、介助を拒否される方に関しては、常に清潔を保持できているかは不明。支援が必要な方に関しては、全介助あるいは一部介助にて、清潔を保持している。	○	自立の方に関しても、定期的に口腔内の確認をしていく必要があるため、怠らずに確認を徹底していきたい。拒否される方に関しては、口腔ケアをする習慣をつけていただくよう、努めていきたい。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	メニュー委員会が設置されておりカロリー計算・栄養のバランスを考え、職員それぞれが献立を作っている。その他、食事・水分摂取量もすぐに確認できる位置にチェック表を設置。職員が個々で確認し確保している。	○	入居者さまにより水分の摂取が少ない方もいらっしゃる為、それぞれの病気や好みを考慮し、バリエーションを増やしたり、声掛けの仕方の工夫・摂取の仕方(ゼリーなど)の工夫をしている
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	予防接種の実施(入居者様・職員)。 手洗い・消毒・うがいの徹底。	○	仕事の合間合間にこまめに手洗い、消毒をする習慣をつけていきたい。感染症が疑われる際の対応の仕方の周知はあまり図れていない為、早急に周知を図りたい。
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	毎晩、台所用品の漂白・消毒を行っている。生ものは出来るだけ加熱する。調理前の手洗い・消毒の徹底。新鮮な食材の調達。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	1カ月に2~3回の外清掃の日を設け、外回りの清掃・整備を行っている。 毎朝の玄関掃除。		
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	レクの際には、季節の物を制作するよう努め、掲示し、会話の中にも季節感のある話題を盛り込み、季節を感じられるよう配慮。 不快な音や光が入らないよう、その都度適切な対応をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホームの作り上共有空間で1人になれる場所は限られているが、入居者様同士でのコミュニケーションを取れる場として、食堂兼居間を利用して頂いている。		
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いたれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居の時点でご本人やご家族様には、使い慣れたものや好みの物を置いて構わないというお話はしており、入居者様の状態によりベットか布団かというもお任せしている。		
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	換気やにおい対策には努めている。掃除の際、天候にもよるが窓を開け空気の入れかえを行っている。北海道なので外気温との差は、大きくなる季節もあるが、夏場は体調を確認しながら、出来るだけ外気温との差を作らないように心がけている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	バリアフリーになっている部分も多く、廊下・階段などに手すり完備。動作の邪魔になる場所には物を置かないよう安全面に配慮。トイレに関しては、車椅子では狭い為不便。		
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	お手洗いには「トイレ」の表示をつけたり、各居室にはご本人の名前を表示。その他、それぞれにあった声掛けや、動作などで補っている。		
87 ○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	表玄関には花壇があり、裏庭には菜園があるため収穫や、整備を一緒に行っている。		

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない <p style="text-align: center;">○</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある <ul style="list-style-type: none"> ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている <ul style="list-style-type: none"> ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
・笑顔が絶えない場所であるように、入居者様とのかかわりを大切にしています。